



トーナメントディレクター

高橋 孝由
(NTTビジネスアソシエ東日本)

第38回DUNLOP SRIXON社会人テニス選手権・東京大会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

ゴールデンウィークに入り爽やかな初夏を迎える今日この頃ですが、本格的なテニスシーズンの幕開けを前に体力作りに励んでおりますでしょうか。

日本人活躍の錦織圭選手は現在、手首のケガで拠点としているアメリカ・フロリダにて、リハビリをしているようですが、現時点ではまだ手首についての情報はないのでわかりませんが、5月8日から開幕するマスターズ、マドリッド・オープンに間に合うかどうかは不透明な状況です。

もし間に合わなければ、その翌週の15日からはローマで行われるマスターズもありますので、できれば29日からの全仏オープン前に、クレーでの試合に慣れてから大舞台に挑んで欲しいとは思っていますが、最悪ぶっつけ本番で全仏に乗り込むことも大いに考えられるだけに、その後の錦織圭選手情報を今後も気にしていきたいと思っています。

そして、最大規模の個人戦である夏のトーナメントDUNLOP SRIXON社会人テニス選手権も大いに盛り上げていただきたいと思います。

本大会は男女ともクラス別で実施し、Aクラスを除き初回戦で敗れても、敗者戦＜サバイバル戦＞により最低2試合は戦えることができます。なお、今年度も年齢別男子シングルスは、45歳以上と50歳以上（単のみ）の部に分けて実施、また昨年度に引き続き女子40歳以上のシングルスとダブルスも実施します。

優勝を目指して熱い戦いが展開されることを期待すると共に、ラストショットまで、集中力を切らさずにどうぞ日頃の練習成果を存分に発揮していただきたいと思います。

今回も約1,200名以上の参加者に満足いくような大会運営を目指し少人数で運営いたしますので、皆様のご協力も欠かせません。どうぞ選手の皆様もご協力をお願いいたします。

最後に本大会のご協賛いただく、(株)ダンロップスポーツマーケティング様に対し御礼申し上げますと共に、選手にとって実りある大会となりますようお祈りいたします。



株式会社ダンロップスポーツマーケティング
代表取締役社長

尾島 祐輔

第38回DUNLOP SRIXON社会人テニス選手権・東京大会が今年も一般社団法人東京都テニス協会主催のもと盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

今年で38回目を迎える本大会は予選・本戦を通じて大会のレベルも向上しており、また、企業間でのお互いの交流をより一層深め、社会人のテニス普及発展のための意義ある評価の高い大会と承っております。

これもひとえに、本大会を創設された一般社団法人東京都テニス協会実業団委員会をはじめとする関係各位の熱意と努力の賜と確信いたしております。

本大会は種目も男子・女子・年齢別と多くのクラス分けがなされており、試合経験が少ない初心者からも参加でき、参加者も延べ1,200名以上のビクトーナメントとなり、社会人テニス界発展に多大な貢献をしておられる大変意義ある大会です。

このような素晴らしい大会に、私どもダンロップスポーツマーケティングが甚だ微力ではございますが協力させていただきますことは誠に光栄でございます。

今後も社会人テニス界発展のためにより一層の努力をしていきたいと考えております。

国内では3年後の2020年東京オリンピックを控え、また錦織選手の活躍、女子でも大坂選手が昨年日本人勢初のWTA最優秀新人賞にも選ばれ大いに盛り上がっております。

まさにテニスへの関心が高まるなか、各企業、各種目の出場選手の皆様にはぜひとも、一人でも多くのお仲間をテニスにお誘いいただき、更なる社会人テニスの活性化にご尽力いただければ幸いです。

最後に、本大会開催にあたり一般社団法人東京都テニス協会様、運営にあたられる一般社団法人東京都テニス協会実業団委員会様をはじめ多大なるご尽力された関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、本大会の成功と益々のご発展を心から祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。